

# 油分濃度計「OCMA」

(株式会社堀場アドバンスドテクノ) 立所 咲樹

キーワード: NDIR、溶媒、環境分析

## 油分濃度計 OCMA

### ● 特徴

- ① 非分散赤外吸収分析法(NDIR)での測定
- ② 時代の変化に合わせて、抽出溶媒を開発！
- ③ お客様の要望を受け、カスタマイズ！

NDIR を使用することで…

- ・操作が簡単で扱いやすい
- ・測定時間が短い(約 3 分)
- ・揮発物質の検出が可能



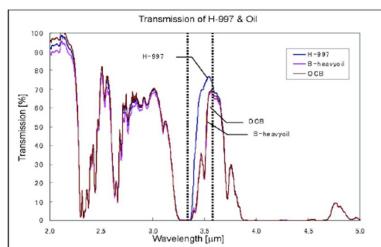
OCMA505-H



OCMA555-H

### ● 測定原理

サンプルの油分を溶媒(H-997)に抽出し、赤外線分析計でその油分量を測定  
(3.4～3.5μm 付近の赤外線吸収量を測定  
→ 油分量へと変換)



### ● 仕様

	OCMA 505-H	OCMA 555-H
測定方式	溶媒抽出- 非分散赤外吸収分析法(NDIR)	
測定対象	試料水から油分抽出溶媒に抽出された 波長 3.4～3.5 μm 付近に赤外線吸収を示す物質	
測定レンジ	0～200mg/L	
抽出溶媒	H-519	

◀ 溶媒と油分の赤外吸収スペクトル

## 測定事例

### 約3分の簡単・スピード測定が可能！

- ・環境計測 (環境基準に基づいた環境水質調査、工場・石油精製場などの最終放流監視、土壤汚染の調査など。幅広い環境分析に使用されています)
- ・金属 (切削による金属部品に付着した油分残渣の管理)
- ・その他 (電子部品、医療器具、洗浄機、冷蔵庫の配管、空調機、気体、ドライヤー etc.)

## メッセージ

- ・「こんなサンプルは測定できるの？」「製品のことを知りたい」など現場測定、環境分析などに関する技術相談を受け付けております。ご興味のある方はご連絡下さい！  
(その他質問がある方もお気軽に質問して下さい！)